

**製品
Q&A**

CT：欠けた画像の修正について

対象機種：Carino/Pronto/ROBUSTO^{※1}/ECLOS^{※2}/Supria^{※3}/SCENARIA^{※4}/SCENARIA View^{※5}

Question

撮影時に寝台の高さが合っておらず、画像が欠けてしまいました。再撮影以外に欠けた部分を表示させる方法がありますか？

Answer

データ収集はフルFOV^{*}で行っています。フルFOV内の画像については「ポストリコン(拡大再演算)」にて画像位置、サイズを変更することで、欠けた部分を再演算することが可能です。

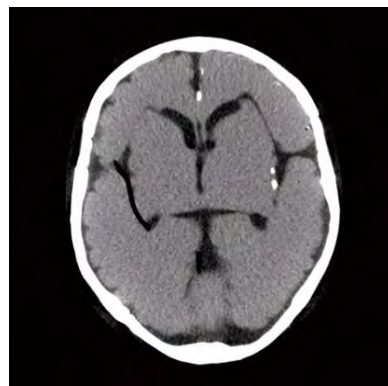
手順

- ①ポストリコン(拡大再演算)を起動します。
- ②欠けた画像を参考に、最適と予想される画像位置およびFOVサイズに再調整します。
- ③再演算を実行します。

*フルFOVは350/420/430/500mmと機種によって違いがあります。詳細はご使用装置の仕様書・取扱説明書をご確認ください。



撮影時



再演算後

※1 ROBUSTO、※2 ECLOS、※3 Supria、※4 SCENARIA および ※5 SCENARIA Viewは株式会社日立製作所の登録商標です。

**製品
Q&A**

XR：Slot長尺画像の濃度補正について

対応機種：CUREVISTA^{※1}、EXAVISTA^{※2} (HyperVIEW^{※3} (Slot/Step) 搭載装置)

Question

被写体厚の厚い患者さんで、Slot長尺の画像が白飛びしLevelとWidthで調整したところ、頸部が黒つぶれてしまいました。濃度補正はどのように調整したら良いですか。

Answer

撮影パラメータを調整して再構築することで頸部が黒つぶれすることなく、濃度補正することができます。

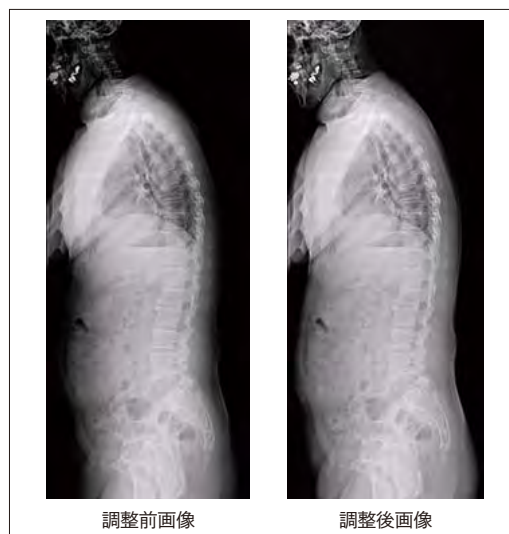
調整手順

- ①撮影タブを選択します。
- ②画面の左側にある撮影パラメータを選択します。
- ③部位別条件設定を選択します。
- ④濃度補正したい部位を選びます。
今回の例では、SPINE_SLOTを選択します。
- ⑤長尺(Slot/Step)タブを選びます。
- ⑥Comp. Table Typeを4から6に変更します。
- ⑦画面右下の更新を押します。
- ⑧表示タブを選択し、画像を表示します。
- ⑨画像処理Toolの長尺(Slot/Step)で画像を再構築します。

| | No* | 適用部位 |
|------------------|-----|------------|
| Comp. Table Type | 1~3 | LOWER_SLOT |
| | 4~6 | SPINE_SLOT |
| | 7~9 | SPINE_STEP |

*数値が上がるほど幅広い階調の表示が可能です。

濃度調整補正 (M-DRC処理適用) 例



調整前画像

調整後画像

※1 CUREVISTA、※2 EXAVISTA、※3 HyperVIEWは株式会社日立製作所の登録商標です。